

第2章 記述方法(1)

Web応用

第5回 Webページのデザインの制御

第2章

記述方法(1)

第2章 学習目標

スタイルをコントロールするための方法を学びましょう。

.styleの記述

JavaScriptでCSSを操作することができます。

まずは、入力ボックスに値（色コード）を入れ、ボタンを押せば「要素内の色」が変更する仕組みを解説します。

1. ファイルを用意

ファイル名は「sample5-2.html」です。

■ ソースコード

```

1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title>サンプル5-2</title>
6     <style>
7       /*CSSのエリア*/
8       #box1{border:1px solid red;}
9     </style>
10  </head>
11  <body>
12    <!-- コンテンツのエリア -->
13
14    <script>
15      //JavaScriptのエリア
16
17    </script>
18  </body>
19 </html>

```

2. 要素の配置

入力ボックス、ボタン、対象の要素を配置します。

■ ソースコード

```

12 <!-- コンテンツのエリア -->
13 <p><input type="text" id="input1"></p>
14 <p><button onclick="change1();">CSS変更</button></p>
15 <p id="box1">こんにちは！</p>

```

3. JavaScriptを追加する

要素のスタイルを操作するコードに書き変えます。

■ ソースコード

```

15 //JavaScriptのエリア
16 function change1(){
17   var input1 = document.getElementById("input1");
18   var box1 = document.getElementById("box1");
19   box1.style.color = "#" + input1.value;
20 }

```

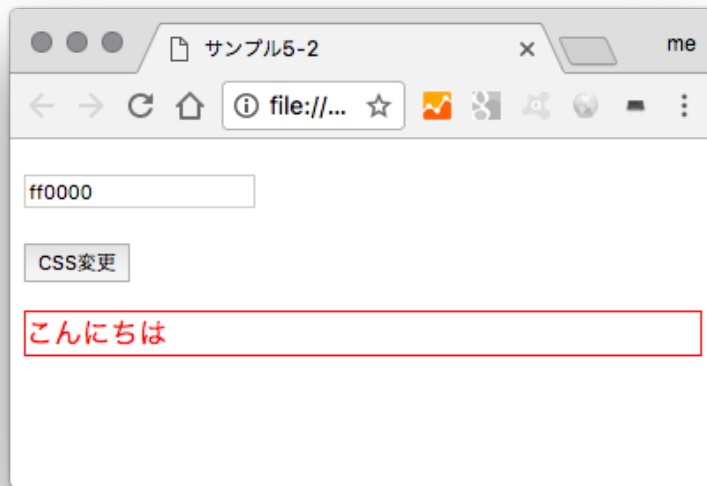
解説：

「要素.style.プロパティ="値"」は、CSSプロパティと値をJavaScriptでコントロールします。

4. 確認

保存してブラウザで動作を確認しましょう。

例えば「ff0000」を入力してボタンを押せば「こんにちは！」が「赤」(#ff0000)になります。



参考：色コードについて

この章では、色を「色コード」というもので指定しました。色コードは、「#」と16進数の6桁からなる値です。

- 「#ff0000」は赤
- 「#00ff00」は緑
- 「#0000ff」は青
- 「#000000」は黒
- 「#ffffff」は白(#ffffff)です

16進数の最初の2桁は赤色の強さ、真ん中の2桁は緑色の強さ、最後の2桁は青色の強さです。

プログラム内で"#"を入力した16進数の値の先頭に連結しています。（一方「red」や「green」などは「色ネーム」と言います）

いろいろなCSS

color以外のCSSプロパティを演習してみましょう。

また、単位の書き忘れ、「\"(ダブルクォーテーション)」にも注意しましょう。

■ color

```
19 box1.style.color = input1.value;
```

- 色ネーム(red,green,blue等)で指定できます。CSSだと #box1{color:~;}に相当

■ border

```
19 box1.style.border = input1.value + "px solid gray";
```

- CSSだと #box1{border:~px solid gray;}に相当

width

```
19 box1.style.width = input1.value + "px";
```

- CSSだと #box1{width:~px;}に相当

height

```
19 box1.style.height = input1.value + "px";
```

- CSSだと #box1{height:~px;}に相当

margin

```
19 box1.style.margin = input1.value + "px";
```

- CSSだと #box1{margin:~px;}に相当

padding

```
19 box1.style.padding = input1.value + "px";
```

- CSSだと #box1{padding:~px;}に相当

変形(transform)

回転

```
19 box1.style.transform = "rotate(" + input1.value + "deg)";
```

伸縮

```
19 box1.style.transform = "scale(" + input1.value + ",1)";
```

移動

```
19 box1.style.transform = "translate(" + input1.value + "px,0px)";
```

CSSだと

#box1{transform:rotate(~deg);}、

#box1{transform:scale(~,1);}、

#box1{transform:translate(~px,0px);}に相当

練習問題1

問題

【クイズ】 択一選択（即解答表示）

JavaScriptでCSSをコントロールするときに使用するものはどれですか。

- ☐ .innerHTML
- ☐ .style
- ☐ .value

練習問題1の解説

正解は、**.style** です。

- 「.style.プロパティ名="値"」と記述してCSSをコントロールすることができます。

「.innerHTML」「.value」などと混同しないよう注意しましょう。

第2章 まとめ

「.style」を使って、スタイルをコントロールするための方法を学びました。

第2章 終わり

Web応用

第5回 Webページのデザインの制御

第2章

記述方法(1)

おわり

